

CT 検査における造影剤使用に関する説明書

1. 検査について

あなたが受ける検査では、造影剤という検査薬を使用します。

この検査薬はまれに、副作用が生じることがありますので、以下の項目をお読みになった後に、ご不明な点を説明スタッフに質問し、納得されましたら承諾書に署名をして下さい。

2. CT検査の方法とその特徴

CT は、コンピュータと放射線(エックス線)を使って、身体の断層画像を作成する検査です。患者さんは、細長い検査台の上に横になっていただき、短いリング状の装置の中を検査台が動く間に撮影します。検査中はアナウンスに従い呼吸を一時的に止めて頂く場合があります。

3.放射線による影響

通常のCT 検査では、検査を受ける人に、放射線による影響はほとんどないと考えられていますが、ご心配の場合は、スタッフにご相談ください。

4. 造影剤とは？

CT 用の造影剤はヨード製剤でいくつかの種類があります。診断にあたって情報量を増やすために画像にコントラスト(色調の強弱)をつける検査用の薬です。通常、静脈注射で使います。

【造影剤で副作用が生じる危険が高い状態】

アレルギー体質の方は副作用を生じる可能性が約3倍高く、なかでも気管支喘息の方は約10倍といわれています。また、腎臓の機能が低下している方にCTの造影剤を使うと、腎機能を悪化させることがあります。さらに、ある種の糖尿病の薬の副作用が出やすくなる場合があります。

次に該当する方は、造影検査前に、スタッフへご相談下さい。

- ① 以前に造影剤で具合が悪くなったことがある。
- ② 気管支喘息やアレルギー体質と診断されている。
- ③ 腎臓の機能が低下している、あるいは腎臓病と診断されている。
- ④ 糖尿病の飲み薬を服用している。
- ⑤ 甲状腺機能亢進症と診断されている。
- ⑥ 妊娠している可能性がある(胎児に対する造影剤の影響がよくわかっていないため)。
- ⑦ 心臓など循環器の機能が低下している。

なお、以前に造影剤を使った際に副作用が出ていなくても、今回の造影剤検査で副作用が出ないとは限りません。

【造影剤の副作用】

副作用の頻度は、軽症なものを含めて約3%といわれています。造影剤の副作用は、検査中や検査直後に生じるもの(即時性副作用)と検査後数時間から数日後に生じるもの(遅発性副作用)とがあります。また、検査中から検査後数日の間に注射部位が腫れたり、炎症を起こすことがあります。

A. 即時性副作用

ほとんどは、吐き気、嘔吐、熱感、皮膚の異常(赤くなる、かゆみができる、むくむ、じんま疹)、くしゃみ、せき、などの軽いものです。しかし、まれに(10万人に数人程度)、冷や汗、血圧低下、胸が苦しくなる、呼吸困難などの重い副作用が起こることがあります。極めてまれですが死に至る報告もあります。また、注射部位が腫れたり、炎症を起こすことがあります。

B. 遅発性副作用

まれに、検査後数時間から10日後くらいの間、体がだるくなったり、頭痛、皮膚の異常などが出ることがあります。

5. 検査後の症状・異常の時には

検査終了後数時間から数日後に、先に述べたような症状や、何か異常があらわれた場合には、診察時間内に当院までご連絡下さい。

* 上記内容に関して説明を受け、理解された場合には、同意書に本人、または本人が署名できない場合は代諾者の署名・捺印をお願いします。

* 上記内容に関する説明が理解できない場合には、主治医にその旨申し出てさらに説明を受けるなどして、十分に理解されたうえで、署名・捺印を行ってください。

* 検査につき不明な点や心配なことがありましたら、いつでもスタッフにご相談ください。

造影CTに関する同意書

私は、検査の内容、起こりうる危険性、合併症について説明を受けました。また、その検査結果より生じると考えられる利益と不利益についても説明を受け、十分に理解しました。

上記を了承した上で、造影検査を受けることを承諾・同意します。また、合併症を含む不測の事態(緊急の場合)には主治医の判断に委ねることを承諾・同意します。

* 本同意書を提出後も検査の実施前まではご自由に撤回できます。本検査をうけられないことにより生じる不利益を除いては、それ以降の患者様の診療に不利益を受けられることはありません。

検査日:

施設名

説明医

印

署名日:平成 年 月 日

患者様氏名

印

(代諾者氏名)

印

患者様との続柄: